

令和7年11月4日

報道関係各位

田辺市企画広報課
課長 水野 通尚

田辺市、Minerva University 及び一般社団法人 Minerva Japan の
連携協力に関する協定の締結について

この度、Minerva University、一般社団法人 Minerva Japan 及び田辺市は、学生の多文化的視点と実践的知見を育み、地域社会に根ざした学びをグローバルな課題解決へと発展させる力を養うとともに、田辺市における地域の課題解決や活性化を図るため、連携協力に関する協定を締結することとし、下記のとおり締結式を行います。

また、連携協力の一環として、11月14日から17日の間、大学2年生が田辺市でフィールドワークを実施しますので、報道方よろしくお願いします。

記

■ 締結式

1. 名 称：「田辺市、Minerva University 及び一般社団法人 Minerva Japan の連携協力に関する協定書」締結式
2. 日 程：令和7年11月11日（火）14：30 から
3. 場 所：田辺市役所本庁舎 5階 市長室
4. 連携事項：（1）相互の交流を通じた人材育成に関する事項
（2）共同による調査研究及び事業の実施に関する事項
（3）前2号に掲げるもののほか、甲、乙及び丙が協議して必要と認める事項
5. 締結背景：

ミネルバ大学、一般社団法人ミネルバジャパン及び田辺市は、田辺市をフィールドとした学びのプログラムについて、連携協力しながら検討を重ね、7月にはサステナビリティ・ラボ（大学の課外活動チーム）のフィールドワークを実施しました。また、東京都に大学の日本拠点が開設されたことに伴い、今後の継続的なフィールドワークの実施に向けて、改めて相互の協力関係を明確にすることで、さらなるプログラムの充実や連携強化を目指すべく、協定を締結する運びとなりました。

■ 2年生のフィールドワーク

1. 参加学生：ミネルバ大学2年生 47名
2. 内 容：田辺市の自然や文化に触れながら、地域の方々に講師に「食文化とサステナビリティ」「人口減少」について学ぶ。
3. 行程

	学 習 内 容	場 所
11/14（金）	・熊野の歴史・文化	熊野古道、湯の峰温泉
11/15（土）	・みなべ・田辺の梅システム、梅加工品 ・紀州備長炭記念公園見学 ・人口減少時代の地域づくり	上秋津農村改善センター 紀州備長炭記念公園
11/16（日）	・干潟観察、海の生態系 ・田辺の魅力発信、街歩き ・農業をどう維持していくか、一次産業の魅力 ・シリコンBARの取組、地元で住みたい環境をどう作るか	新庄町の干潟 居酒屋 膳 シリコンBAR など
11/17（月）	・学生から地域へのプレゼンテーション （3日間の学習に基づいた地域への提案）	田辺市役所 第1委員会室 （9：00～11：30）

■ ミネルバ大学について

2014年9月に開校した4年制総合大学。学生の85%以上を、世界の約100カ国からの留学生（うち日本国籍を有する学生は34名：2025年8月現在）が占める多様性を実現し、2022年から4年連続で、国連関係機関により「世界で最も革新的な大学」として選出されている。

ミネルバ大学では、双方向型のオンライン授業を通じて学びを深めながら、世界各地の都市でフィールドワークや社会課題に取り組むプロジェクトに参加し、地域社会との交流を行っており、これらの都市は、学生にとって「世界をキャンパスとした学びの場」として位置づけられる。2025年9月からは、公益財団法人日本財団の支援の下、日本が学部2年生の年間を通じた新たな学習拠点として加わり、ミネルバ大学の正式な日本法人である一般社団法人 Minerva Japan と連携し、国内外の多様な機関と協働しながら、教育・研究・社会連携活動を推進している。

田辺市企画広報課 企画調整係 初山
〒646-8545 田辺市東山一丁目5-1
内線：2102
TEL：0739-26-9963 FAX：0739-22-5310
Mail：kikaku@city.tanabe.lg.jp